

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する

売上高成長率
10%以上営業利益率
10%以上ROE
10%以上ROIC
7%以上

② 中長期の経営戦略

1. 試験機事業の強化

標準製品のブラッシュアップ、代理店網強化、製品・技術開発力向上、特殊製品受注拡大、修理・校正・メンテナンスサービス拡充

3. デジタル化の推進

ハード・ソフト一体化事業へ発展。ソフトウェア、AI、ネットワーク等との融合を提案

2. エンジニアリング事業の拡大

既存顧客深耕、新規顧客開拓、共同製品開発、生産性向上によるインフラマーケット浸透

4. デジタル事業の新設

2025年3月31日付で先端力学シミュレーション研究所を子会社化。CAEソフトウェア開発・販売、AI解析等を新柱として展開

③ 対処すべき課題

① ガバナンス・内部管理体制強化

- ・ 2023年3月30日に特設注意市場銘柄に指定。2024年11月23日に解除されるまで改善計画を実施
- ・ 2024年5月の元取締役による製造委託料水増し・キックバック不正が発覚
- ・ 不正防止と業務効率化を目指した社内システム導入、人員補強、外部専門家活用等

② 経済・地政学的リスク対応

- ・ 物価上昇による個人消費への悪影響リスク対応
- ・ アメリカの通商政策、中国経済低迷、ウクライナ侵攻、中東情勢の動向に対する監視体制構築

③ 中期経営計画の実行

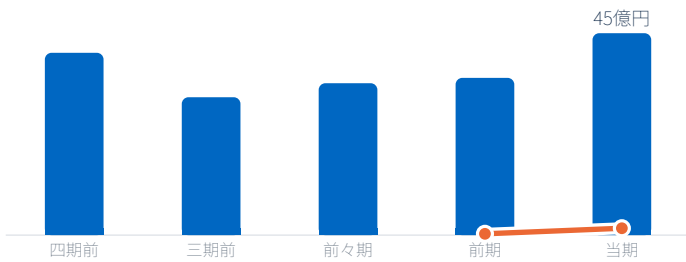
- ・ 2025年2月期：事業拡大のためのプラットフォーム作り（デジタル化推進、顧客サービス高度化）
- ・ 2026年2月期：収益基盤の拡大（核事業強化、コスト最適化）
- ・ 2027年2月期：市場の期待に応える（シェア拡大、顧客ロイヤルティ構築）

面接で使えるポイント

- ・ 1923年創業以来、試験機事業で産業基盤と社会インフラの安全・安心を支える重要なメーカー
- ・ 先端力学シミュレーション研究所を子会社化し、デジタル事業を新柱として2025年3月31日に展開予定
- ・ ガバナンス強化のため2024年11月23日に特別注意銘柄指定を解除、信頼回復を実現

証券コード 7719

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
45億円営業利益率
3.4%財務健康度
27点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 37.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
625万円

精密機器内 35位/50社

平均年齢
41.3歳

精密機器内 34位/51社

平均勤続
7.3年

精密機器内 43位/51社

女性管理職
11.1%

精密機器内 16位/39社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 株式会社東京衡機、ログミーFinance主催 個人投資家向け

